Sound

住友病院

vol.16

SPRING
2012.April/May/June

住友病院だより【さうんど】

特集

住友病院のチーム医療
【Mission】がんから女性を守れ!

- Close up!／住友病院は、緩和ケアにも力を入れています。
- 先生教えて!／お薬手帳って何?
- 知っておきたい医療用語／大阪府がん診療拠点病院
- おすすめレシピ／シソ入りレンコンつくね
- 突撃探検隊／停電時でも電気を供給できる設備
- 中之島うぉーく／中之島バラ園
- 連携クリニック／
  医療法人弘正会 ちもりメディカルクリニック
  糸氏医院



ご自由にお持ち帰りください

Illustration:Yousuke Asakusa

乳がんは、唯一自分で発見できるがんです。

乳がんは、今や日本人女性の約18人に1人が罹患(りかん)していると言われ、女性が発症するがんの第1位となっています。年齢別にみると、30歳代から増加し始め、40～50歳前後にピークを迎えます。しかし、乳がんは唯一自分で発見できるがんであり、他の臓器のがんの中でも治療によく反応するがんの一つです。住友病院では、症状により様々な科が連携したチーム医療で患者様に安心して治療を受けていただけるよう配慮しています。

住友病院では、「信頼性の高い医療で社会に貢献」を理念とし、診療科の枠を越えた“チーム医療”で高度な専門性を発揮しています。今回は外科（乳腺外科）、形成外科、婦人科、放射線治療科、薬剤部、そして専門の看護師が一丸となって取り組む女性のがんについてご紹介します。

婦人科

乳がん以外の婦人科の腫瘍性疾患全般の治療を行っています。子宮頸がん、子宮体(たい)がんなどの悪性腫瘍に関しては、病状に応じて手術療法に加え、化学療法などの治療を行っています。また、子宮筋腫や卵巣腫瘍などの良性腫瘍の手術に関しては、腹腔鏡手術や術後の傷が小さな小切開手術など低侵襲(しんしゅう)な手術方法や、ビキニの水着でも傷が目立たないような美容に配慮した縫合方法を採用しています。患者様の希望を可能な限り取り入れて、診療方法をご提案するようにしています。

※産科診療は行っておりませんので、妊娠に関連した疾患には対応できません。ご了承ください。



診療主任部長 **鮫島義弘** Yoshihiro Samejima

チーム医療
Team Sumit omo Hospital
Mission
がんから女性を守れ!

女性の命とボディ イメージを守るため
女性のがんと闘う



外来化学療法室診療主任部長 兼 外科診療部長
西村重彦 Shigehiko Nishimura

外科（乳腺外科）

一昔前であれば乳がんの治療といえば乳房を全摘し、わきの下のリンパ節をたくさん切除する手術が標準でしたが、今では乳房を大きく切除する手術は少なくなってきています。当科でも、年間約110人の方の乳がん治療を行っていますが、がんの病変を治療することをメインに患者様の希望を聞き、可能な限り乳房温存手術（以下、温存手術）を心がけています。温存手術は、がんの数が1つで大きさが3cm以内の場合に適用されますが、抗がん剤を使用し、がんを小さくしてから温存手術を行うことも検討します。もし、温存手術が困難な場合でも形成外科と連携し、同時乳房再建手術（形成外科欄参照）を行い、患者様の満足度を高めるよう努力しています。その他、乳腺専門医を中心にがん看護専門看護師や放射線治療科など他科ともチームを組み、最新の治療を行い良好な治療成績を収めております。何なりとご相談ください。

日本医療リンパドレナージ協会 リンパ浮腫治療専門セラピスト(※)

手術時にリンパ節を切除した場合、術後にリンパの流れが悪くなり腕がむくんでリンパ浮腫になることがあります。そのような場合に専門セラピストとして、リンパマッサージ療法やバンテージ療法の実践および指導を行っています。※中級講習会修了者



幸地一美 Kazumi Kochi　田中ゆかり Yukari Tanaka

外来化学療法室

抗がん剤投与に対して、輸液の管理と副作用の観察を行い、日常生活の注意点をアドバイスしたり副作用に対するご相談などに対応しています。安心して治療を受けていただけるようサポートさせていただきます。心配なことや気がかりなことがあれば私たちに何でもご相談ください。



高森由紀子 Yukiko Takamori　荒尾梢 Kozue Arao

下田由香里 Yukari Shimoda　工藤希志子 Kishiko Kudo



藤田英一 Hidekazu Fujita　日野裕子 Yuko Hino

薬剤部

担当医師より提出された抗がん剤の投与スケジュールと処方内容が適切かを確認します。また、患者様へ服薬説明を行ったり、クリーンな環境で注射薬を調製しています。薬のことで不安に思われたことなどありましたら、ご相談ください。



診療部長 **今井敦** Atsushi Imai



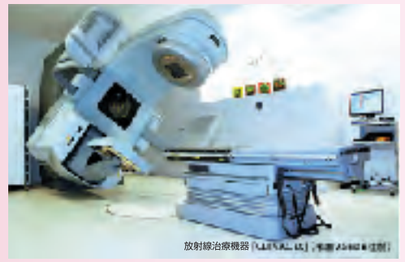
診療主任部長 **高木正** Tadashi Takagi

形成外科

乳房の温存が難しい場合、乳がんの手術と同時に再建手術を行う「同時乳房再建手術（一期的再建手術）」を行っています。温泉に入りにくい、バランスが悪くなる等の肉体的な問題だけでなく、喪失感から来る精神的な問題も軽減できるよう心がけています。

放射線治療科

当院では、最新・最高峰の放射線治療機器「CLINAC iX」（米国 Varian社製）を導入しています。この機器により複雑な形状の腫瘍に放射線の強弱をつけて照射するなど高精度放射線治療が可能となりました。



放射線治療機器

Close up!

患者様のさまざまな苦痛を和らげたい！住友病院は、緩和ケアにも力を入れています。

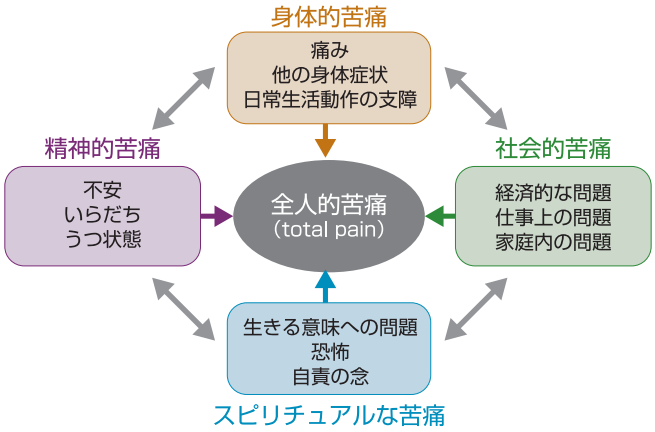


外科診療主任部長
妙中 直之
Naoyuki Taenaka

住友病院では、緩和ケアをがん病変の治療と並行して行うことが大切であると考え、担当医師や看護師を中心に院内全体で取り組んでいます。

緩和ケアとは

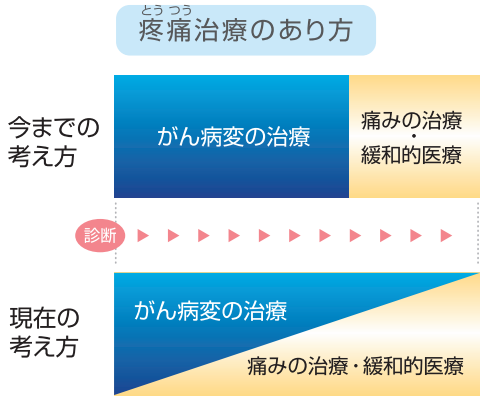
緩和ケアとは、がん患者様の身体の痛みだけでなく心のさまざまな苦痛も和らげ、QOL（Quality Of Life＝人がより人間らしく生きていくこと）を高めていく医療のことです。つまり、緩和ケアは、身体面の苦痛だけでなく、不安やいらだちなどの精神的苦痛、経済問題や仕事・家庭問題などの社会的な苦痛など複雑な痛み（トータルペイン＝全人的な痛み）を軽減させる治療と言えます。



住友病院が目指す緩和ケア

当院では、がんの治療においては「身体的な治療」だけでなく、患者様の抱える「つらさ」全般に目を向け、療養生活の質を向上させることが最も大切であると考えています。しかし、緩和ケアは未だに終末期に行うケアとして誤解され、「まだ緩和ケアを受ける時期ではない」と思いこんでいる患者様やご家族が少なくありません。そこで当院では、早期から緩和ケアをご提供することが重要であると考え、担当医師や看護師を中心に取り組んでいます。

緩和ケアは、どのような病状や病期であっても受けることが可能です。何なりと主治医にご相談ください。



緩和ケアサポートチーム

院内の医師（外科医・内科医・麻酔科医・精神科医）や看護師、薬剤師、理学療法士他で構成し、昨年5年目を迎えました。緩和ケアチームへの相談件数は増えており、のべ70回以上のチームカンファレンスを実施して参りました。

一人でも多くの患者様やご家族が緩和ケアサポートチームの活動を通して、緩和ケアが特別なものではなく普遍的に提供されるケアであることを実感していただくことを願っています。主治医や担当看護師らと共に、がん患者様とご家族の快適な生活をサポートしていきます。



先生教えて！Q&A



Q：お薬手帳って何？

調剤薬局でお薬手帳を薦められましたが、どんなものですか？



薬剤部　副室長　延藤 勇　Isamu Nobutou

A

お薬手帳とは、病院・クリニックなどで処方された薬やご自身で購入された市販薬を記録しておくものです。色んな診療科や医療機関に掛かると、同じ効果の薬を気付かず重複して処方されるケースがありますが、お薬手帳があると他にどんな薬を飲まれているか確認できます。また、過去にアレルギーが出たり、副作用で困ったような薬について記載しておけば、新しく処方する際に確認ができます。普段服用されている市販薬やサプリメント・健康食品についても記載していると、飲み合わせに注意が必要な薬について飲み合わせの確認も可能です。このように、様々な医療機関からの薬や市販薬・サプリメントなどの記録を1冊の手帳にまとめ「薬の情報を一元管理する」事がお薬手帳をつける目的です。

ご自身の病名は大抵の方が答えられますが、薬はカタカナのよく似た名前が多く、普段飲まれている薬でも名前まで正確に答えられる人は少ないのが実情です。昨年の東日本大震災で、薬を持たず避難された方々に避難所で薬をお渡しする際にも、薬の確認にお薬手帳が役立ったそうです。

5月5日は子供の健康を願う「こどもの日」として有名ですが、薬の日でもあります。61年5月5日に薬になる草木などを狩り集める薬狩りが催され、これから毎年5月5日を薬日（くすりび）と定め薬狩りを催したのが由来です。他にも、薬草であった菖蒲・笹・柏に関係する習慣（菖蒲湯に入ったり、笹や柏の葉で包んだちまきや柏餅を食べたり）もある事から、5月5日は健康に気を付ける日とも言えます。5月5日は「薬の日」。薬の事も今一度考える日としていただき、その時にお薬手帳も活用して下さい。



知っておきたい医療用語

『大阪府がん診療拠点病院』って？



住友病院は平成21年に「大阪府がん診療拠点病院」に認定されています。

大阪府では平成20年に「大阪府がん対策推進計画」が制定されました。その計画に基づき「大阪府がん診療拠点病院」の設置が決まり、初年度には当院を含め23病院が指定されました。その後、平成23年の「大阪府がん対策推進条例」施行により大阪府のがん診療体制は更に強化され、現在43病院が地域がん診療の拠点として活動しています。

指定にあたっては、がん診療にあたる専門医の数、放射線治療機器等の高度な医療器械の充足状況、緩和ケア等専門チームの活動状況といった要件が審査されます。当院では症例毎に、手術、化学療法、放射線治療を適切に選択し、治療にあたる体制を整えております。

「大阪府がん診療拠点病院」は「国指定がん診療連携拠点病院」と連携、協力することで、大阪府におけるがん医療の充実を図ることを設立目的としており、当院もその一員として、地域医療に貢献しています。



花粉症の季節です！

From 栄養管理科 おすすめレシピ



栄養管理科
管理栄養士
福永 恵子
Keiko Fukunaga

「シソ入りレンコンつくね」

花粉症対策の食生活としては、いろいろな食べ物をバランスよく食べること、規則正しい時間に食事をとること、旬の野菜で食物繊維や免疫力を高めるビタミン・ミネラルをしっかりとることが大切です。今回は花粉症に良いといわれる食材を取り上げました。レンコンは胃腸の働きを整え、免疫力を高める効果があり、アレルギー体質の改善に有効です。シソは花粉症を和らげる食品として一番初めに注目を浴びた食品です。シソに含まれるロズマリン酸というポリフェノールが炎症を和らげる働きがあるとされ、抗アレルギー成分も含まれるので花粉症に良いとされるシソ油やシソジュースなどに用いられています。



【材料／2〜3人分】

- とりひき肉……200g
- レンコン……10cm
- シソの葉……5〜6枚
- 卵……1個
- 味噌……大さじ1/2
- 片栗粉……大さじ1
- 酒……大さじ1/2
- 塩……少々
- すだち……2〜3個

【栄養価】※1人分で計算

エネルギー：220〜330kcal
たんぱく質：18〜26g
塩分：1.2〜1.8g

【作り方】

❶ レンコンは皮をむき、半量をみじん切りにし、水に5分ぐらいさらし水気をふく。半量はすりおろす。シソは縦半分に切りせん切りにする。
❷ ボウルでとりひき肉に酒大さじ1/2を入れて練り混ぜ、❶のレンコン、シソと卵、塩、味噌、片栗粉を加えさらに練り混ぜる。
❸ フライパンにサラダ油大さじ1を熱し、❷を適当な大きさに丸めて落とし、中心までしっかり火が通るように焼き、両面をこんがりと焼き上げる。
❹ 器に盛ってすだちを添える。

ワンポイントアドバイス

つくねに下味をつけているので、何もかけず、すだちだけでいただけます。また、いわしのすり身を鶏肉の変わりに使うこともできます。魚に含まれるα-リノレン酸、EPA、DHAはアレルギー反応を抑制する働きがあるといわれていますので、お試しください。

試食してみました レンコンの歯ごたえが良く、冷めてもおいしいので、お弁当のおかずにも良いですよ。

★★突撃採検隊★★

住友病院の知られざる情報や場所を編集部が取材し、お伝えします。

＜停電時でも電気を供給できる設備＞



◀大型ガスタービン発電機



▼定電圧定周波数装置（CVCF）

病院においては、生命を維持する装置をはじめ多くの医療器械や空調設備等が24時間休むことなく稼働しています。万一停電ということになれば重大な影響を及ぼしかねません。

そこで住友病院では、停電時でも丸1日は自前で電気供給ができる設備を備えています。その一つは燃料（重油）を燃やした燃焼ガスでタービンを回して発電する自家発電装置。1000KVA（キロボルトアンペア＝電力の単位）の大型ガスタービン発電機を2台設置しています。さらに無停電電源装置（UPS）と定電圧定周波数装置（CVCF）も並置しています。特にCVCFは、多数の蓄電池とセットになった150KVAの装置を3台備えています。万一の時でも間断なく電力を供給することが可能で、一瞬たりとも停電が許されない使用先につながっています。

「これらの設備は専門の技術者が常時点検・整備して、万一の場合に備えています」と設備担当者。心強い設備を見せていただきました。



中之島うぉーく

大阪、中之島周辺のニュースをご紹介いたします。



約310品種・3700株のバラが咲き誇る 中之島バラ園

～5月初旬頃から期間限定のビアガーデンもオープン！～


中之島バラ園

北は堂島川、南に土佐堀川に挟まれた中之島。江戸時代から現在にいたるまで大阪の文化、芸術、経済の中心地としての役割を担って参りました。その中心部にある中之島公園の東側に中之島バラ園があります。昭和56年5月の開設以来、平成21年には再整備され、都心のバラ園として親しまれています。面積約6000平方メートルの大花壇には、約310品種・3700株ものバラが植樹されており、5月頃より見頃を迎えます。

また、5月初旬頃より本格的な料理が味わえる期間限定のビアガーデン<"R" Riverside Grill & BEER GARDEN>がオープンします。川のせせらぎを聞きながら、彩り鮮やかなバラを眺めつつ、昼はランチ、夜はアジアン・バーベキューが楽しめます。



◀コンベンションローズ"ローズ・オオサカ"
「世界バラ会議大阪大会2006」のシンボルとなった新種のバラ。
深みのある赤色の大輪種、高芯剣弁の整った花形で、微香があります。


"R" Riverside Grill & BEER GARDEN

◆ **中之島バラ園**
〒530-0005 大阪市北区中之島1丁目 中之島公園内

◆ **"R" Riverside Grill & BEER GARDEN**（5月初旬頃～OPEN予定！）
TEL 06-6202-0112
営業時間：ランチ 11:30～14:00LO、ビアガーデン 16:00～23:00
※時期によっては営業時間が変更されることもあります。
定休日　不定休
http://www.zetton.co.jp/nakanoshima/
※詳細は直接お問い合わせください。

連携クリニックのご紹介

住友病院が連携している医療機関を編集部が取材し、ご紹介します。

医療法人弘正会

ちもりメディカルクリニック

〒553-0005 大阪市福島区野田3-12-14 ソフィアコート野田1F
TEL 06-6467-5200

ちもりメディカルクリニックは、JR大阪環状線野田駅から徒歩1分、地下鉄玉川駅からすぐという至便な場所にあります。スタッフは院長先生はじめ全員女性で、安心して診察を受けていただけるよう心掛けていらっしゃいます。

内科診療は生活習慣病を中心に、産婦人科診療では、妊婦健診、一般婦人科診察の他、大阪産婦人科医会に協力し、子宮頸がんの予防と治療に努めておられます。

住友病院とは婦人科手術やCTなどの検査を通して連携をとった診療を行っています。

一人ひとりの患者様と向き合い一緒に病気を治していきたいとおっしゃる皆さんの笑顔が印象的でした。





院長 千森 弘子 Hiroko Chimori
<診療科目>
内科、産科・婦人科、
リハビリテーション科、美容皮膚科
URL http://www.chimori.com/

いと うじ

糸氏医院

〒559-0016 大阪市住之江区西加賀屋1-1-6
TEL 06-6681-2772

糸氏医院は、1964年の開院以来約50年間、地域の「かかりつけ医」として診療されています。CT、マンモグラフィ、上部消化管内視鏡検査、超音波検査等、プライマリ・ケア（初期医療）担当医として、より質の高い医療を実践されています。また、様々な病態に対応するため、住友病院をはじめとした確実で安全な病診連携の体制を確保し、複数の医師による診療体制を整えていらっしゃいます。

「初心に帰り、日々是新（あらた）なり」をモットーとしているという糸氏院長。定期的にスタッフ研修や検討会を開催し、患者様の視点に立った心優しい医療を目指されているとのこと。毎日を新しい気持ちで診療されている様子がうかがえました。





院長 糸氏英吉 Eikichi Itouji
<診療科目>
内科、外科、婦人科、放射線科
URL http://www.myclinic.ne.jp/itoujiclinic/pc/

医療機関の皆さまへ【検査・診療予約のご相談はこちらまで】
住友病院 地域医療連携部　TEL 06-6447-3031（直通）　FAX 06-6447-3052　受付時間／平日 午前8:30～午後4:45

住友病院の無料セミナーや最新情報をお知らせします。

住友病院 NEWS

SEMINAR INFORMATION

セミナー開催報告

第51回 住友病院市民公開セミナー「知って下さい、薬のことを」～薬剤師からのメッセージ～

平成24年2月25日（土）、当院14階講堂において「第51回　住友病院市民公開セミナー」を開催いたしました。
今回は、「知って下さい、薬のことを」～薬剤師からのメッセージ～として薬剤部の延藤勇副室長、日野裕子副室長、岸純子主任の3名が薬について講演しました。5月5日の「薬の日」をはじめとした四方山（よもやま）話、薬の正しい使い方、飲み合わせなどの情報に、来場された100名近くの方々からは「知らなかった情報を聴き、為になった」などのお声をいただきました。


セミナーの様子

市民公開セミナー開催予定のお知らせ

住友病院では病気の基礎知識を高め、治療などに役立てていただけるよう市民公開セミナーを実施しております。参加費は無料ですので、ぜひご参加ください。

●場所:住友病院 14F講堂

※セミナー開催予定は、予告なく変更する場合がございます。
※スケジュール、最新情報、申込方法等詳細は、当院ホームページでご確認ください。
※開催日の約1ヶ月前より当院各所に開催告知ポスターを掲示いたします。

開催日	テーマ（予定）	担当科（予定）
5月12日（土）	患者と家族を支える緩和ケア	緩和ケア対策委員会
6月16日（土）	膝の痛みでお悩みの方に!	整形外科

INFORMATION

一般財団法人住友病院になりました

新公益法人制度の改正にともない、2012年（平成24年）4月1日より「財団法人住友病院」は「一般財団法人住友病院」として新たにスタートいたしました。1947年（昭和22年）8月「財団法人新大阪病院」として財団法人を設立以来65年ぶりの改組になります。新たにスタートする住友病院をどうぞよろしくお願いします。

平成23年12月1日より病院敷地内が全面禁煙となりました


敷地内禁煙

平成15年5月に「健康増進法」が施行され、受動喫煙の防止が定められました。本院は、平成15年4月1日から全館禁煙としてきましたが、皆さまの健康を守るための最適な療養環境を提供するという立場から、昨年12月1日より病院敷地内を全面禁煙と致しております。
皆さまのご理解とご協力を宜しくお願い致します。

住友病院理念
信頼性の高い医療で社会に貢献
高水準、良質の医療
（高い評価の臨床研修病院）
患者様のQuality of Lifeを重視した診察
快適環境
豊かな国際性

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構

住友病院は、大阪府がん診療拠点病院です。

Editor's Note

昭和22年に当院が法人改組した際には、財閥解体時の覚書に基づき「住友」の名称を避けて「財団法人新大阪病院」としてスタートしました。その後昭和34年に「財団法人住友病院」に改称、そして平成24年4月に「一般財団法人住友病院」に移行いたしました。時代の流れと共に社名は変わっても職員一人ひとりの中に住友の精神は脈々と受け継がれています。新しい住友病院を今後ともよろしくお願いいたします。（T.F）

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-20　TEL.06-6443-1261（代表）
【 受付時間 】午前8:30～11:30　午後12:30～3:00 ※土・日・祝日・12月30日～1月4日は休診

“Sound” には、「音」のほかに「聴診する」「健康な」「確かな」という意味も含まれています。

住友病院だより「Sound」発行人：松澤 佑次　編集人：薦田 昌史　編集：横田 雅人、二上 剛志、後藤 健志
※広報誌「Sound」に関するご意見などは、企画室までご連絡ください。　住友病院だより【Sound vol.16】平成24年4月1日発行

住友病院
住友病院　検索